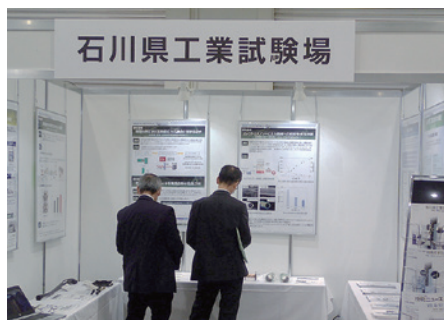


お知らせ

□「北陸ヤーンフェア2021」に出展

繊維関連の展示商談会である「北陸ヤーンフェア2021」が「サステナビリティ&イノベーション～アフターコロナに向けて～」と題し、10月26日と27日に福井県産業会館で開催されました。出展者数は46社・団体（昨年から9社増）であり、昨年の金沢開催を上回る約2500名の来場がありました。会場からは繊維生活部における研究成果のほか、企業の製品開発支援を目的とした繊維関連の試作・評価機器などを紹介しました。



○出展ブースの様子

□2021年度産総研 テクノブリッジセミナーin石川を開催

産業技術総合研究所（産総研）の最新技術などを県内企業に紹介する場として、産総研テクノブリッジセミナーin石川（主催 産総研、共催 工業試験場）を11月12日（金）に北陸発の産学官金連携マッチングイベント「マッチングハブ北陸2021」の会場であるANAクラウンプラザホテル金沢で開催し、会場23名、オンライン38名の合計61名の参加がありました。

産総研 中部センターの研究活動の紹介として、以下に示す材料分野における最先端の3つの研究開発の取り組みが紹介されました。これらの技術や産総研の研究開発にご興味のある方は、工業試験場の産総研石川サイトまでご連絡ください。

- ・極限機能材料開発の取組みと連携事業の紹介
極限機能材料研究部門長 松原 一郎 氏
- ・“脱炭素社会に向けたマルチマテリアル技術の紹介”
～次世代のモビリティからインフラ素材まで～
マルチマテリアル研究部門長 藤代 芳伸 氏
- ・未来モビリティのための磁性材料開発
磁性粉末冶金研究センター長 尾崎 公洋 氏



○産総研テクノブリッジセミナーin石川の様子

□素形材産業技術賞「中小企業庁長官賞」を受賞

工業試験場がTANIDA(株)（金沢市）と共同で取組んだ casting 技術の開発に対して、（一財）素形材センターより素形材産業技術賞「中小企業庁長官賞」が11月に贈られました。工業試験場からは機械金属部 藤井要 主任研究員、谷内大世 専門研究員が受賞しました。

業績題目：差圧 casting と砂型3D積層造形の活用による航空機用複雑形状 casting 物製造プロセスの開発

受賞機関：TANIDA(株)、(学法)ものづくり大学、(国研)産業技術総合研究所



□新規導入設備の紹介

令和3年度地方創生推進交付金と県予算により、以下の設備を導入しました。

○水分活性測定装置

【用 途】 食品や食品素材の水分活性を測定し、食品の保存性を評価します。

【メーカー・型式】 METER Group, Inc.・AQUALAB 4TE

【仕 様】

・測定原理：露点チルドミラー法

・測定範囲：0.03-1.00 aw

・測定精度：±0.003 aw

・測定時間：約5分

【利用料金】 開放試験：1時間あたり2,080円

